



龍谷高等学校の皆さん

唐津南高等学校の皆さん

高校生と佐賀県議会議員との意見交換会を実施しました

龍谷高等学校の生徒の皆さん、唐津南高等学校の生徒の皆さんと佐賀県議会議員が意見交換会を実施し、地元高校生の貴重な意見を聞く機会となりました。

詳細は8ページ

令和7年 9月定例会 概要 (会期 9月10日～10月2日)

令和7年9月定例会県議会では、令和7年度一般会計補正予算案など29件の議案等が審議され、予算議案及び条例議案等20件、意見書案4件、決議案1件が可決されたほか、公安委員会委員の任命の人事議案1件が同意されました。

なお、「令和6年度佐賀県歳入歳出決算の認定について」など2件の決算議案は、決算特別委員会に付託され、継続審査となりました。

○令和7年度補正予算関係

- ・令和7年度佐賀県一般会計補正予算（増額後予算総額約5,280億4,500万円、対前年同期比0.9%減）
- ・財政調整積立金特別会計補正予算案、災害救助基金特別会計補正予算案 など計6件

令和7年9月定例会で条例などが次のとおり可決されました

■ 条例（4件可決）

○佐賀県唐津地区高等学校等寄宿舎設置条例

【内容】 唐津市内の離島出身者等の通学に係る負担を軽減し、県内進学を促進するため、佐賀県唐津地区高等学校等寄宿舎を設置するもの。

他3件

■ 意見書（4件可決）

- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 地方消費者行政の充実・強化のため国の財政措置を求める意見書
- 外国人や外国資本による土地取得及び利用を制限するための法整備を求める意見書

- 台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）参加を積極的に支援するよう求める意見書

■ 決議（1件可決）

- 佐賀県警察本部DNA型鑑定不祥事の再発防止と県民への信頼回復を求める決議

その他の議案等はこちら→

令和7年9月定例会
議案採決結果一覧表（PDF）



- ・令和7年9月定例会の概要、可決された条例・意見書など 1
- ・本会議質問 15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨 2～5
- ・委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項など 6～7
- ・その他の議会活動など 8

「佐賀県議会 映像配信」や「会議日程」、「会議録」などがご覧いただけます。

佐賀県議会

検索





本会議質問

各議員が行った質問の中から一部を紹介いたします。

質問議員

※質問順

一般質問

9月17日(水)

- 富田 幸樹 (とみた こうき)
- 岡口 重文 (おかぐち しげふみ)
- 徳光 清孝 (とくみつ きよたか)
- 木村 雄一 (きむら ゆういち)
- 池田 正恭 (いけだ まさやす)

9月18日(木)

- 中村 圭一 (なかむら けいいち)
- 古賀 和浩 (こが かずひろ)
- 西久保 弘克 (にしくぼ ひろかつ)
- 江口 善紀 (えぐち よしのり)
- 八谷 克幸 (はちや かつゆき)

9月19日(金)

- 酒井 幸盛 (さかい ゆきもり)
- 石丸 太郎 (いしまる たらう)
- 桃崎 祐介 (ももざき ゆうすけ)
- 一ノ瀬 裕子 (いちのせ ゆうこ)
- 猪村 利恵子 (いのむら いえこ)



各議員の質問一覧は「佐賀県議会映像配信」で「」確認ください。



自由民主党
富田 幸樹 議員
唐津市・玄海町選出



県立大学について



県立大学については、県民に対して建設費などを示し、大多数の賛成を得て進めるべきだと考える。理解も進んでいない、意見を言う場もない状況である。

県が行ってきたパンフレットの作成、新聞への広告掲載、デジタル動画の放映、シンポジウムなどの広報では、200億円以内という建設費や運営費のうち、県が一般財源として2億円の持ち出しを行うことは全然示されていない。県は県民に知らせたくないのではと推測するのは私だけだろうか。

県民の理解を得るには、将来の理想やプラス面に偏った情報だけでなく、費用面も示した広報をすべきと考えるが、県の考えを伺う。



県立大学の広報については、教育現場や企業現場など、それぞれの関わり方や業種、年代で関心事も異なるので、それぞれに説明や意見交換が大切であると考えている。

手法については、より多くの県民の方に届くよう、工夫しながら取り組んでまいりたい。

また、コストについても、まとめ次第、適宜説明してまいりたい。

他の質問項目▶ DNA型鑑定における不適切な対応／九州新幹線西九州ルート／最低賃金



自由民主党ネクストさが
岡口 重文 議員
伊万里市選出



廃棄物行政について



九州屈指の規模の産業廃棄物処分場が伊万里市で計画されており、市民から環境への影響や風評被害などを心配する声がある。私は、県と市は県民市民の声をきちんと受け止め、連携を図りながらしっかりと向き合う必要があると考えている。

県は施設設置の許可権者として今後の廃棄物行政についてどのようになっているのか。



産業廃棄物処分場の設置は、地元住民の意向や理解が何よりも大切である。そして、そこには基礎自治体の長たる市町長の判断が極めて大切。県の意見照会に対して地元伊万里市からは反対意見はなく進捗してきた。

現在、周辺住民から意見書が提出されており、ここから簡単に進んでいく環境にはなりにくいのではと認識している。

今後とも一貫して地元を大切にしつつ対応していく。今後はよりわかりやすい具体的な手続きを明確化するための方策について検討を進めたい。

他の質問項目▶ 佐賀県警のDNA型鑑定問題／水源地保全条例の制定／佐賀酒を守るための酒米の安定生産



県民ネットワーク
徳光 清孝 議員
佐賀市選出



DNA型鑑定にかかわる不適切事案について



DNA型鑑定の不正が発覚した事案について、県民の信頼を回復するためには、県警察による真相解明や再発防止策だけでなく、外部の第三者委員会を設置して進めるべきだと思いがどうか。



警察法上、県警察は公安委員会の管理に服することとされている。現在、県公安委員会は、各界で知見を有する3名により構成されており、本事業も、警察外の第三者的立場から多くの指導等がなされている。こうした中で、本事業を受けて、第三者委員会といったものの設置について、その必要があるとは考えていない。



公安委員会は警察行政全般の管理を行っているわけであって、今回の不正は重大かつ深刻。

今回は不正問題に特化した第三者委員会の設置が必要ではないか。



本事案は、公安委員会において、確認された上で、主事の指導や指摘がなされ、新たな再発防止策の提案も含め、真摯かつ実質的な議論が行われており、第三者委員会の設置の必要があるとは考えていない。

他の質問項目▶ 佐賀駐屯地／林野火災への対応／玄海原子力発電所上空で3つの光が確認された事案／教育問題



公明党
木村 雄一 議員
唐津市・玄海町選出



ツール・ド・九州2026の開催について



来年10月に唐津市で開催予定の国際自転車レース「ツール・ド・九州」は、スポーツ振興に加え地域の観光、経済振興の観点からも期待されている。

大会を通じて世界に向けて唐津そして佐賀県の魅力発信や地域の振興につながっていくように、関係機関や民間とも連携し、しっかりと準備を進めてもらいたい。知事はどのような思いで開催を目指していくのか。



「ツール・ド・九州」の開催は、昨年、木村議員から提案もあり検討していたが、福岡県と佐賀県が組むことで天神から糸島、唐津、波戸岬エリアの価値、海のすばらしさを世界に発信できるチャンスと考えた。

このエリアには、世界的知名度のあるジャック・マイヨールが愛した海を望むルート・グランブルー、唐津城、虹の松原などがあり、唐津に大きな変革、前進を呼び込む起爆剤となるように地域の皆さんと共にすばらしい大会をつくりあげていきたい。

他の質問項目▶ 原子力分野の人材育成／コスメ産業の人材育成／デジタル社会におけるeスポーツの学び／佐賀県警不適切事案の再発防止



自由民主党ネクストさが
池田 正恭 議員
小城市選出



佐賀県スポーツの推進について



スポーツの力で人づくり地域づくりを推進するために、アスリートの育成とあわせ、スポーツを見る、支えるなど、誰もがそれぞれのスタイルでスポーツに親しむスポーツの輪が広がってほしいと思うが、SSP構想が目指す姿に向け、県として、今後どのように取り組んでいくのか。



SSP構想が目指す社会は、アスリートがスポーツで食べていける社会、スポーツを活かしたビジネスシーンが広がる社会である。この実現に向けて、中高生アスリートの育成や就職支援、パラスポーツの振興、スポーツビジネスの創出に取り組んでいる。さらに、新たにスポーツそのものの在り方を含めた調査研究などにも取り組み、佐賀から新しいスポーツ政策をつくっていききたい。

今後、「みる」「支える」「育てる」「稼ぐ」という様々なスタイルで多くの人に参加していただき、スポーツを活かした人づくり、地域づくりを進めていく。

他の質問項目▶ 小城・多久地域の道路整備／社会資本の整備／森川海人プロジェクト



自由民主党
中村 圭一 議員
鳥栖市選出



メディアリテラシー教育について



様々な情報から自分で考え判断する力を養うメディアリテラシー教育の先進国であるフィランドでは、義務教育の段階から国語、理科、美術などの教科と絡めてアルゴリズムの仕組みの理解やフェイクニュースの見分け方を含めた教育が行われている。

佐賀県の児童・生徒たちのメディアリテラシーの水準がどの辺にあるのか把握するためにぜひ実態調査を検討してはどうか。



情報や情報手段を主体的に選択して活用していく力を育成するということは、学習の基盤としても、情報社会を生きていく上においても重要である。

この実態調査については国でも類似の調査を行っていると思う。

県では、ICT活用教育に力を入れているが、有識者や市町の教育長と意見交換を行う場もあるため、ICT活用教育をどう進めていくのかという議論の中で、どういったことが有効なのか、既にある調査などを基にするのか、どうするのかを考えてみたい。

他の質問項目▶ 九州新幹線西九州ルート／県立大学／デジタルデバイドの解消



自由民主党ネクストさが
古賀 和浩 議員
三養基郡選出



献血と骨髄ドナー登録について



献血は10代から30代が減少傾向であり、骨髄移植は全国で毎年約2000人が希望している。骨髄ドナー登録者の多くは献血者であり、献血者減少によりドナー登録者減少や手術への影響が懸念される。平時でも行えるボランティアである献血と骨髄ドナー登録はセットで広報することが重要であり、特に若い方への取組みを行うべきだと考える。



献血と骨髄ドナー登録の関係性を考えるとセットで取り組んでいくことが効果的と考えている。そのため大学や専門学校での献血時には骨髄ドナー登録も併せて呼びかけを行っていくが、10月の大学生向けのライフデザインセミナーでもチラシ配布などを行うとともに佐賀県学生献血推進協議会とも意見交換を行い工夫していく。

また、健康経営の普及のための企業訪問時にドナー休暇制度の創設、導入も働きかけていきたい。日本赤十字社を創設した佐野常民は「博愛」の言葉を残している。献血者、骨髄ドナー登録者を増やせるよう取り組んでいく。

他の質問項目▶ 全国都市緑化フェアと山の博覧会（仮称）の開催を通じた自発の地域づくりの広がり／佐賀県が目指す防災体制



自由民主党
西久保 弘克 議員
佐賀市選出



山口県政の政策の 検証について



問 知事はこれまで大型事業に多額の予算を投じてきたにも関わらず、例えば「SAGAアリーナ」周辺に民間投資が進んだ話を聞いたことがなく、むしろテナントが撤退する状況。

事業の成果を「心が育まれた」「思いが未来につながった」といった抽象的な表現ではなく、しっかりと検証して県民に説明し、次に生かしていくべきではないか。



答 佐賀県の本質的な価値を開花させるべく未来志向で政策を提案。防災、福祉、教育、人の想いなど社会的効果も県政ではとても大切な価値。様々な面で政策を総合的にミックスしながら経済的效果も出るよう進めており、不確実性の時代の中、機動的に、柔軟に先進的な取組にチャレンジし、未来に向けたブランドデザインを示し「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を力強く進めていく。

なお、様々な指標で検証することは大切であり、一つ一つの事業に対してその後の推移を見ていくことも大事。次に生きる形で機能できるよう個別の事業も検証しながらしっかりと組み立てていきたい。

他の質問項目▶ 高齢者に目を向けた施策／県職員の自己実現と佐賀県経済成長のため兼業の推進／佐賀県庁の組織運営／予算査定のあるり方



県民ネットワーク
江口 善紀 議員
佐賀市選出



佐賀駐屯地について



問 今後、佐賀駐屯地には目達原駐屯地のヘリ約50機を移駐する計画だが、受け入れるためには、拡張が必要になるのではと懸念する。

「現時点で」防衛相から駐屯地の拡張に関する構想や計画は伺っていないということだが、将来的には拡張の計画などが可能性としてはあると理解しているのか。

もし、防衛省から拡張の申し出を受けた場合、環境アセスメントの問題等を含めてどのように対応されるのか。



答 将来的な拡張について、何か（構想や計画）があるのかということも含めて、現時点で確定的に何かがあるわけではない。

仮に将来において、拡張が計画される場合、環境アセスメントの実施の要否は、事業の目的や構想、決定の時期

が同一か否かなどにより、その時点で総合的に判断することになると思われる。現時点で判断する段階にはない。



佐賀駐屯地の様子(佐賀市)

他の質問項目▶ 戦後80年に際して



自由民主党ネクストさが
八谷 克幸 議員
神埼市・吉野ヶ里町選出



吉野ヶ里遺跡の保存と 活用について



問 吉野ヶ里遺跡の存在を向上させる動きの一つとして、謎のエリアと隣接する区域の発掘調査が始まり、今回はどのような発見があるのか楽しみにしているところ。一方で、膨大な出土品は公園内の倉庫棟に収蔵しきれず、収蔵庫とは言いえない仮の収納スペースに分散保管されており、本物を見てもらえず残念な状況。

加えてこれら収蔵庫は建築から相当年数を経過し老朽化が著しく、収蔵環境の稚拙さゆえに遺物の価値さえ正にアピールできない。

収蔵環境の改善は待ったなしの状況である。



答 議員ご指摘のとおり、膨大な出土品は学術的価値が高いものの、遺跡から離れた収蔵庫に分散保管され眠っている状態にある。

収蔵庫も著しい老朽化や容量の限界で環境改善は差し迫った状況にあり、本物の出土品を収蔵したまま見せることで来場者を魅了したく、関係者の賛同を得られれば、「魅せる収蔵庫」(仮称)といった収蔵施設について、早急に実現に向けた検討を始めたい。

他の質問項目▶ 吉野ヶ里遺跡の保存と活用／稲作の省力化技術／鳥栖～神埼間のバイパス化／東脊振IC九州佐賀国際空港自動車専用道路整備



県民ネットワーク
酒井 幸盛 議員
唐津市・玄海町選出



「肥前名護屋城を世界の歴史に」 考え方への知事の思いについて



問 肥前名護屋城を拠点とした文化ツーリズムの創造に取り組むこととされているが、世界中から多々多くの人に名護屋城を訪れていただくために、「肥前名護屋城を世界の歴史に」という考え方への知事の思いを伺いたい。



答 茶や能など日本文化発展の原点である名護屋城は驚くべき文化的な価値があり、世界に十二分に通じるものがあると確信し、その文化的側面に光を当てる方針に転換した。

また、豊臣秀吉の拠点として築かれた城で全体的な遺構を見ることができるとは名護屋城のみであり、「近世城郭遺構の至宝」とか「奇跡の城」と評価をいただけており、こうした価値を磨き上げる「はじまりの名護屋城」プロジェクトを展開してきた。

今年11月に開催する名護屋城大茶会では、「出張！お城EXPO」の誘致に九州で初めて成功した。

「はじまりの名護屋城」プロジェクトをきっかけに多くの事業ができたのは、これからの楽しみにほかならない。唐津全体、官民の様々な取組みを複合的、重層的に展開して、名実ともに世界の肥前名護屋城、世界の唐津を実現していきたいという強い覚悟でいる。

他の質問項目▶ 佐賀鉄工所、厳木新工場建設延期による今後の動向／佐賀唐津道路早期事業化／唐津大橋整備状況／地域交通持続可能への取組



自由民主党
石丸 太郎 議員

武雄市選出



佐賀県障がい者文化芸術作品展について



問 佐賀県障がい者文化芸術作品展では作者が創作を通じて自信や誇りを持ち社会と繋がる姿に深く感銘を受けた。

障がいのある方々が経済的に自立し充実した生活を送るためには、文化芸術活動が収入に繋がる仕組み作りも一つの手法と考える。障がいのある方々のアート作品に出会う機会を広げてほしい。



答 障がい者の文化芸術活動の支援として三つの取組みを進めている。発表・鑑賞機会の拡充では、「美術館に展示されるのがうれしくて子どもたちの創作活動に熱が入っている」という声も聞く。創作機会の拡充・支援では、相談窓口設置や施設等への講師の派遣などにより創作活動への後押しをしている。障がい者アートと出会う機会づくりでは毎年開催している「佐賀さいこうフェス」において来場者と障がいのあるアーティストが交流しながらワークショップを行う機会を創出し、多くの方が偶然の出会いを楽しんでいる。

今後も障がい者の文化芸術活動を支援し、多くの方々に障がい者アートを身近に感じてもらえるよう出会いの場を創出していく。

他の質問項目▶ 県立学校体育館の空調整備／SAGA×Out of KidZania2025／佐賀県飲食産業ブランド化プロジェクト



自由民主党
桃崎 祐介 議員

唐津市・玄海町選出



教員が働き続けられる環境づくりについて



問 教育の質を維持向上させていくためには、人材の確保と育成が最も重要であり、教員不足が全国的に問題となる中で、教職員が働きやすい環境をつくりあげていくことが、佐賀県の将来的な教育力の強化につながるものと考ええる。

現状の課題と認識と今後の取組みについて伺いたい。



答 業務に集中して取り組める環境づくりや気軽に相談できる仲間づくり、体制づくりなどが働きやすさや働きがいを支えていることにつながると考えている。

今年度から新任の教員がいる市町の小学校にモデル的にチーム担任制を導入したが、時間的にも気持ち的にもゆとりが持てるかと好評をいただいている。また、教員からの相談を24時間受け付ける体制を整備するとともに、相談しあえる交流の場を設け、若手教員同士の仲間づくりを後押ししている。教員の熱意、教育への貢献に報いるため、今後も丁寧なサポート体制の整備に一層尽力していきたい。

他の質問項目▶ 玄海原子力発電所上空における3つの光の確認事業／佐賀県の移住施策／点在する観光資源をつなぐ面的な観光振興



自由民主党ネクストさが
一ノ瀬 裕子 議員

佐賀市選出



※フェムケアの今後の展開について



問 県では、昨年よりフェムケアを推進されており企業の意識も変わりつつあると感じている。次の展開として様々な年齢層の女性が集い、ライフスタイルごとの健康課題を解決する知識を得る機会の創出が重要ではないか。

都市部で多く見受けられるが、タブー感の払拭、就労の継続、企業の成長、地域の活性化を目指し、地方でこそ必要。

女性や若者に選ばれ、誰にとっても住みやすい佐賀県へと発展させてほしい。



答 企業に理解を広げていく取組と併せて、女性自身が健康課題に向き合い、ケアに関する知識を得る機会をつくっていくことは重要。

多くの女性が参加したくなるようなイベントを開催し、フェムケアをテーマとするのも一つの手法だと考えており、しっかりと検討していきたい。フェムケアの取組みが土台となつて社会を変えていく動きがづくり出せるようしっかりと取り組んでいく。



※フェムケア
県では、女性の健康課題をケアする取組全般を指す。

他の質問項目▶ ARITAプロジェクトにおける佐賀の魅力発信／佐賀城公園の整備／若手教員へのサポート／繁華街における安全・安心に向けた取組



自由民主党
猪村 利恵子 議員

武雄市選出



県立学校体育館の空調整備について



問 文部科学省は災害への備えとして公立小中学校等体育館の空調設備整備率を令和17年度までに95%とする目標を掲げ、整備を促進するための特例交付金を創設した。

この交付金の活用により学習環境の改善及び避難所としての機能強化、地域コミュニティの核としての施設になることが期待され、県が率先して取り組むことで市町が取り組むきっかけにもなると考える。

全ての県立学校体育館に空調設備の整備を、そしてまずは特別な配慮が必要な児童生徒が多く在籍する特別支援学校から整備を始めたい。



答 学校の体育館は教室とは違つた課題や検討事項が多いため、県教育委員会では空調設備の整備手法について調査研究を行っているところ。市町と情報を共有するなど、一緒に研究を進める姿勢で臨みたい。

議員のご意見のとおり特別支援学校から整備を始めるという考え方はある。効果的・効果的な設備や整備手法はどのようなものかなど、様々な観点から調査研究を進めていきたい。

他の質問項目▶ DNA型鑑定問題からの信頼回復／県立大学／学校給食費の支援／地域インフラ復旧と持続可能な建設業／副業・兼業人材活用



総務常任委員会

付託議案10件が原案可決され、1件が同意されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・土地取得特別会計補正予算について
- ・佐賀県波戸岬少年自然の家設置条例（案）
- ・公安委員会委員の任命について

【主な質疑事項】

- ・佐賀空港の自衛隊使用について
- ・外国人による犯罪について
- ・国勢調査について
- ・波戸岬少年自然の家について
- ・DNA型鑑定における不適切な対応について など

【現地視察の様子】



佐賀県警察本部科学捜査研究所
(科学捜査研究所の業務状況について)

文教厚生常任委員会

付託議案7件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・唐津地区高等学校等寄宿舎設置条例（案）
- ・地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館第5期中期目標の制定について

【主な質疑事項】

- ・孤独・孤立対策について
- ・こどもの教育を支える人材の養成について
- ・交通事故防止対策について
- ・世界海洋プラスチックプランニングセンターの運営について など

【現地視察の様子】



基山町立図書館
(図書館運営の状況について)

農林水産商工常任委員会

付託議案4件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・県営土地改良事業に対する市町の負担について
- ・県有財産の無償譲渡について

【主な質疑事項】

- ・稼ぐ農業経営体の創出について
- ・森川海人っプロジェクトを発展させる取組みについて
- ・県内の伝統的地場産業について など

【現地視察の様子】



筑後川下流右岸地区 徳永線（福富工区）
(国営総合農地防災事業の状況について)

地域交流・県土整備常任委員会

付託議案3件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・請負契約について

【主な質疑事項】

- ・吉野ヶ里歴史公園の新たな取組について
- ・県営住宅の空き部屋対策について
- ・ツール・ド・九州開催準備事業について
- ・地域おこし協力隊について など

【現地視察の様子】



今坂川第三砂防堰堤工事現場
(今坂川第三砂防堰堤工事の進捗状況について)

9月30日に委員会が開催され、執行部に対する審議が行われました。

【主な質疑事項】

- ・九州新幹線西九州ルートについて
- ・「交通空白」の解消に向けた取組について
- ・社会基盤としての地域交通を維持可能なものにしていくための取組について
- ・佐賀県地域公共交通計画について など

【質疑の様子】



佐賀県をもっと知るため 議会を傍聴しよう！



みなさまの傍聴を
お待ちしております！

県議会の本会議や常任委員会、特別委員会はどなたでも傍聴できます。

また、本会議場には、車椅子利用者、介助者各5名分のスペース、音声自動認識技術（UDトーク）による字幕表示モニターもあります。

受付開始 午前9時頃

受付場所 議会棟1階

※車でお越しの方は、県庁来訪者
駐車場をご利用ください。



登壇者以外の様子や議場の雰囲気など、
中継にはない臨場感で傍聴できます

傍聴中の託児もできます！（無料）

傍聴希望日の1週間前までに
議会事務局までお申し込みください。



対 象 生後6カ月～小学校就学前

問合せ 0952-25-7215（議会事務局 総務課）



インターネットでも
本会議、
各委員会の様子を
リアルタイムで
視聴できます。

佐賀県議会会議録

平成11年以降の
会議録を検索できます



インターネット中継

本会議（委員会）の様子を
リアルタイムで視聴できます
（開会中のみ）



録画放送

インターネット中継の日から
4営業日後を目途に
公開しています（土日祝除く）

令和元年以降の
映像を公開
しています！





高校生と 佐賀県議会議員との意見交換会

ホームページにも
掲載しています！



◀ 龍谷高校



◀ 唐津南高校

8月8日(金) 龍谷高等学校の生徒の皆さん(17名)と県議会議員(10名)

8月18日(月) 唐津南高等学校の生徒の皆さん(23名)と県議会議員(10名)

学生と議員でグループをつくり、「若者の政治参加について」、「佐賀で働きたい、佐賀に住んでいたい、そんな県にするには」のテーマについてそれぞれ意見交換をしました。

若者の政治参加について

活動内容について、議員の情報の広め方と若者の情報の集め方が異なることの課題が示されたほか、若者が自分たちの都合のいいタイミングで情報を拾うことができるようSNSを利用する、教育の段階から政治に触れる機会を増やすことが重要などといった意見が出ました。

佐賀で働きたい、佐賀に住んでいたい、そんな県にするには

佐賀県では子どもの出生率が高いのに対し、高校卒業後県外に就職する人が多いことや娯楽が少ないという課題が示されたほか、バスの運行本数を増やすなどの公共交通機関の整備、有給休暇とは別の長期休暇の採用などの意見が出ました。

参加した生徒さんからの声

- 自分の意見について、議員さんから直接回答をもらえたり、今の状況を教えてもらうことができてよかった
- 実際に対面して話すことで雰囲気や議員さんたちの思いを知ることができて有意義な時間になった
- 定期的に行ってほしい
- 政治に不満や不安があっても、選挙に行かなければ意見を力に変えられないのもったいないと感じた
- 議員の方と話せる機会はなかなかないので、新鮮でとても楽しかった



龍谷高等学校の皆さん



唐津南高等学校の皆さん